



嶺鶴

令和6年6月1日
大田区南久が原 2-17-1
電話 (3750)2260
FAX (3750)2280

雨がもたらすもの ～「見方・考え方」の育成と本校の教育目標～

大田区立東調布第三小学校
校長 並木 昭

本校では、未来社会を創造的に生きる児童の育成を目指し、4点の教育目標を掲げて日々の教育活動を展開しています。今号の発行日である6月1日（土曜日）実施の学校公開をはじめ、保護者や地域の皆様方におかれましては、本校の教育の姿を多く御覧いただき、その上で、教育目標達成に向けての御感想や御意見を頂戴したいと考えております。

校長には、数少ない授業（のようなもの）の機会があります。それは校長講話、いわゆる「校長先生のお話」です。

「みなさん、雨は好きですか、嫌いですか。雨が好きな人もいれば、嫌いな人もいますね。」

ある雨の日の全校朝会で、次のように問いかけました。

「では、雨が降ると、どんないいことがあるでしょう。」

ここで考える時間を児童にたっぷりと与えたいところですが、「校長先生は、こう思います。」と、話を続けました。

「雨が降ると、生き物が喜ぶんです。」

話の締めくくりは、このようにしました。

「雨が降ると、心が晴れないな、と思うことがあるかもしれません。そんなときは、ちょっと見方を変えて、雨が降ると生き物が喜ぶんだな、と考えてみてください。」

自分なりの視点（見方）をもって考えるとともに、交流を通して知った他者の視点や考え方に触発されることで、自らの考えを更新したり、深めたりすることができます。本校の教育目標の一つである「思いや考えを伝え合ってよく考える子」の達成に通じます。

また、自然事象にも興味をもつことが、「人や自然をたいせつにする子」に通じます。さらに、日頃から様々な事物に関心を寄せるために欠かせない「健康な心とからだをつくる子」の育成とともに、「感動する心をもつ子」を育成する機会を設けることで、本校の教育目標が達成されていくものと考えています。

自分が元来もっている「見方」や「考え方」に変化を加えることは、時に困難を伴いますが、問題解決につながる大きな力となり得ます。現行の学習指導要領では、各教科等の目標に「見方・考え方」に関する記述があり、本校の教育目標と強く結びついています。

重ね重ね、本校の教育活動の一端をこれからも御覧いただければ幸いです。